

日本薬学会 第 143 年会 (2023 年)
募 金 趣 意 書

日本薬学会第 143 年会組織委員会・公益社団法人日本薬学会

ご挨拶

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素から公益社団法人日本薬学会の事業に格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本薬学会第143年会を、2023年3月25日(土)から28日(火)までの4日間、札幌市にて開催いたします。

日本薬学会年会は、日本の薬学関係者が一堂に会する最大規模の学術集会で、大学で教育・研究に従事する者、企業で医薬品の研究・開発に携わる者、病院や薬局で医薬品の適正使用を推進する者、行政の立場から医薬品の有効性・安全性の確保に努める者、さらに、将来の薬学および関連領域を担う大学院生・学部生など、7,000名を超える参加者が見込まれます。運営につきましては、北海道大学大学院薬学研究院内に組織委員会を設置し、目下鋭意準備を進めております。現段階では、すべてのセッションを現地開催する方向で準備を進めておりますが、状況に応じてハイブリッド開催にも臨機応変に対応したいと考えております。

薬学は、物理系、化学系、生物系、医療系、臨床系などの多様な学問からなる総合科学です。多様な学術領域の研究者が一堂に会し、研究成果を発表し議論することで、革新的な医薬品・治療法の創出につながる研究発展に資する年会としたいという強い思いを込めて、第143年会のテーマを「ファーマサイエンス: つながる・つきぬける - PharmaScience: Integration for Breakthroughs -」としました。また、「つながる・つきぬける」という言葉には、コロナ禍により諸活動が制限されることで蔓延する閉塞感を突き破り、直接的な人と人とのつながりを取り戻し、研究を活性化させたいとの思いも込めています。

年会の運営につきましては可能な限り経費節減に努めて参りますが、参加費のみで充実した年会を開催できない状況にあり、諸企業および諸団体からのご援助を得ることで運営をしております。本年会の趣旨にご賛同いただき、日本における薬学のより一層の発展のためご支援賜りたく、格別のご配慮をお願い申し上げます。なお、ご寄附された場合は貴社名をプログラム集に謝辞として掲載させていただき、参加者および日本薬学会会員に配付いたします。

謹白

公益社団法人 日本薬学会
第143年会組織委員会
組織委員長 南 雅文



日本薬学会 第143年会（札幌）募金趣意書

1. 会議名称とテーマ

1) 会議名称

和文名：日本薬学会 第143年会

英文名：The 143rd Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan

2) 学会のテーマ

「ファーマサイエンス：つながる・つきぬける -PharmaScience: Integration for Breakthroughs -」

2. 主催および責任者名

公益社団法人 日本薬学会

会 頭：佐々木 茂貴

日本薬学会第143年会組織委員会

組織委員長：南 雅文（北海道大学大学院薬学研究院・教授）

3. 会 期

2023年3月25日(土) ～ 28日(火)

4. 会 場

北海道大学(札幌キャンパス)

5. ご寄附等による支援を必要とする理由

第143年会では、例年と同様の特別講演、受賞講演、シンポジウム、一般学術発表(口頭・ポスター)等に加え、領域融合的な取り組みを推進するために、組織委員会がテーマを設定し、特別講演とシンポジウムが連動する『領域融合「つながる・つきぬける」セッション』会場を設けることを計画しています。関連するポスター発表を同一会場にまとめることで、一般学術発表も巻き込んで、本年会のテーマである「ファーマサイエンス：つながる・つきぬける」の実現に向けた取り組みを推し進めます。年会開催に関わる経費は本来、年会参加費で賄うべきところではありますが、感染症対策をとりながら充実した意見交換を可能とする年会運営を実現するには参加費のみでは限界がございます。運営につきましては可能な限り経費節減に努めて参りますが、関係各方面からのご支援に頼らざるを得ないのが実情です。

つきましては、本年会の趣旨にご賛同いただき、日本における薬学のより一層の発展のためご支援賜りたく、格別のご配慮をお願い申し上げます。なお、ご寄附された場合は貴社名をプログラム集に謝辞として掲載させていただき、参加者および日本薬学会会員に配付いたします。

また、ご寄附は日本薬学会事務局が担当し、そこを通じて日本薬学会第143年会組織委員会宛に、貴社からのご支援が入金される仕組みになっております。ご寄附の方法は、本趣意書にある寄附申込書に必要事項をご記入の上、「日本薬学会事務局総務課・寄附金受入係」に soumu@pharm.or.jp または FAX (03-3498-1835) にてお申し込みください。以後のお振込み手順等の詳細につきましては、日本薬学会事務局より折り返しご連絡差し上げます。

(お振込み期日は、会議開催前の2023年3月24日(金)までをお願いいたします。プログラム集への貴社名の掲載は印刷の関係上、2022年12月9日(金)までのお振込みの場合に限られます。)

6. 開催計画の概要

1) 日程表

年月日	午前	午後
2023年 3月25日(土)	理事会	代議員総会・授賞式・市民公開講座
3月26日(日)	会頭講演・特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示	ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー・特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示
	領域融合「つながる・つきぬける」セッション	
3月27日(月)	特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示	ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー・特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示
	領域融合「つながる・つきぬける」セッション	
3月28日(火)	特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示	ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー・特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示
	領域融合「つながる・つきぬける」セッション	

2) 参加予定者数 7,000名(うち国外参加者数 約100名)

3) 国外参加者の国名:米国、英国、ドイツ、スイス、中国、韓国

4) 使用言語 日本語、英語(一部のシンポジウムおよび特別講演)

5) 組織委員会名簿

組織委員長	南 雅文	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長	小林道也	北海道医療大学薬学部 教授・薬学部長
副委員長	戸田貴大	北海道科学大学薬学部 教授・薬学部長
顧問(化学系)	周東 智	北海道大学大学院薬学研究院 教授
顧問(生物系)	松田 正	北海道大学大学院薬学研究院 教授
顧問(医療系)	原島秀吉	北海道大学大学院薬学研究院 教授
顧問(臨床系)	竹内伸仁	北海道薬剤師会 会長
プログラム委員長	佐藤美洋	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長(物理系)	前仲勝実	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長(生物系)	中川真一	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長(医療系)	小川美香子	北海道大学大学院薬学研究院 教授
総務委員長	市川 聡	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長	山田勇磨	北海道大学大学院薬学研究院 准教授
財務委員長	松永茂樹	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長	小林正紀	北海道大学大学院薬学研究院 教授
渉外委員長	菅原 満	北海道大学大学院薬学研究院 教授・北海道大学病院薬剤部長
副委員長	大西俊介	北海道大学大学院薬学研究院 教授
会場委員長	木原章雄	北海道大学大学院薬学研究院 教授・薬学研究院長・薬学部長
副委員長	佐々貴之	北海道大学大学院薬学研究院 准教授
広報委員長	脇本敏幸	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長	渡邊瑞貴	北海道大学大学院薬学研究院 准教授

7. 収支予算概要

収入概算

(単位:円)

項目	金額	小計
参加登録料		63,450,000
一般会員:予約 @10,000 × 3,650	36,500,000	
学生会員:予約 @4,000 × 1,750	7,000,000	
非会員:予約 @14,000 × 600	8,400,000	
一般会員:当日 @12,000 × 400	4,800,000	
学生会員:当日 @5,000 × 150	750,000	
非会員:当日 @15,000 × 300	4,500,000	
非会員 (2 day pass):当日 @10,000 × 150	1,500,000	
展示・広告		23,600,000
展示(日本薬科機器協会協賛金)	12,000,000	
ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー	9,600,000	
広告料	2,000,000	
助成・協賛・寄附		18,500,000
財団助成金・日本製薬団体連合会・地元企業等	12,500,000	
自治体補助金	6,000,000	
	収入総額	105,550,000

支出概算

(単位:円)

項目	金額	小計
年会準備費		33,050,000
会議費	850,000	
事務局運営費	12,200,000	
演題登録・システム運用 (システム構築と運用、プログラム印刷・発送、参加登録)	20,000,000	
年会運営費		71,500,000
会場費	21,500,000	
懇親会開催費	7,500,000	
会場設営・運営	21,000,000	
会場内シャトルバスの運行	2,000,000	
講師招聘費	9,000,000	
運営人件費	10,000,000	
雑費	500,000	
事後経費		1,000,000
事務局運営費	1,000,000	
	支出総額	105,550,000

8. 寄附金募集要項

1) 募金の名称

「日本薬学会第 143 年会」 寄附金

2) 募金期間

2022 年 2 月 1 日 (火) ～2023 年 3 月 24 日 (金)

3) 寄附金の用途

「日本薬学会第 143 年会」の運営に関する費用に充当します。

4) 寄附金の払込方法

ご寄附は公益社団法人 日本薬学会 事務局が担当し、そこを通じて日本薬学会第 143 年会組織委員会宛に、貴社からのご支援が入金される仕組みになっております。ご寄附の方法は、本趣意書にある寄附申込書に必要事項をご記入の上、日本薬学会事務局・寄附金受入係に soumu@pharm.or.jp または FAX (03-3498-1835) にてお申し込みください。以後のお振込み手順等の詳細につきましては、日本薬学会事務局より折り返しご連絡差し上げます。

5) 募金および第 143 年会に関する問合せ先

日本薬学会 第 143 年会組織委員会 事務局

総務委員長 市川 聡

北海道大学大学院薬学研究院 教授

〒060-0812 札幌市北区北 12 条西 6 丁目

TEL/FAX: 011-706-3233 (第 143 年会事務局)

E-mail: pharm143@pharm.hokudai.ac.jp (第 143 年会事務局)

財務委員長 松永 茂樹

〒060-0812

札幌市北区北 12 条西 6 丁目

北海道大学大学院薬学研究院

TEL:011-706-3236、FAX:011-706-4981

E-mail: smatsuna@pharm.hokudai.ac.jp

送付先: 日本薬学会総務課・寄附金受入係
E-mail: soumu@pharm.or.jp FAX: 03-3498-1835

寄附金申込書

年 月 日

公益社団法人日本薬学会
会 頭 佐々木 茂貴 殿
第 143 年会組織委員長 南 雅文 殿

(寄附申込者)

ふりがな

名称

住所 〒

ふりがな

名称

氏名

印

下記の金額を寄附いたします。

記

- 1 寄附額 円也
- 2 寄附金の希望使途「日本薬学会第 143 年会」開催費用として
- 3 寄附金の支払予定 年月日 年 月 日

(備考/連絡先)

ご担当者氏名・役職

TEL:

FAX:

E-mail:

本申込書に記載された、氏名、住所、寄附額等の個人情報については、学会の寄附金取扱い業務にのみ使用される旨を本紙の提出をもって同意いたします。また、必要に応じて当該会議主催者並びに関係省庁への報告がなされることを併せて同意いたします。